

てんとう虫



第134号
2023年
12月発行



お知らせ

機関誌「てんとう虫」紙媒体の廃止について

これまで在学生の皆さまに郵送・配布していました機関誌「てんとう虫」について、次号（2024年4月号）から Web 配信のみに変更させていただくことになりました。Web 試験の順調な実施状況などを勘案し、多くの方がパソコンやタブレットの操作に慣れ、ホームページをご覧いただけるようになってきていることから、ペーパーレス化に向けた取り組みとして何卒ご理解くださるようお願いいたします。

今後は、てんとう虫発行の都度（4月、7月、10月、12月）、学習センターのホームページ及びシステム WAKABA の学内連絡でお知らせします。閲覧は従前どおり、ホームページのトップ画面下段「北海道学習センターだより」から PDF ファイルを開いてご確認ください。ご不明な点は学習センターまでお問合せください。

なお、ご事情があって紙媒体のてんとう虫を希望される場合は、発行の都度、キャンパスメールで「機関誌送付希望」と件名に記載、本文に「学生番号」と「氏名」を書いて次の電子メールアドレスに送信してください。[送信先：hokkaido-sc@ouj.ac.jp](mailto:hokkaido-sc@ouj.ac.jp)

学習センターからの重要なお知らせは、ホームページでお知らせしますので、逐一ご確認をお願いします。また、ホームページで重要な更新があった際は、学習センターの「X（旧ツイッター）」でもお知らせします。必要な情報を逃さないようフォローをお願いします。→ <https://twitter.com/hokkaidocenter>

アカデミック・カフェ
（気軽に学べる講演会）
会場参加・Zoom 参加

札幌市内の方はできる限り
ご来場ください。
事前申込み・Zoom ID 等の
詳細は下記 QR 参照
（学習センター電話申込可）



2/4 旭川開催
公開講演会
5ページで
ご案内

日時：1月27日（土）13:15~14:30
題目：化学物質への招待（スマートフォン）
講師：蠣崎 悌司（北海道学習センター客員教員）
会場：北海道学習センター大講義室（会場で聴講のほか Zoom 視聴可）

概要：スマートフォン無しには日常の仕事や生活が成り立たない人も多いと思います。スマートフォンの話題といえば、主にコンピューターや移動体通信（無線）技術を思い浮かべるとはいますが、機器を構成するタッチパネル、液晶パネル、リチウムイオン電池について『化学の目』で見たいと思います。意外にも、定山溪の金属鉱山、北海道出身のノーベル賞化学者鈴木章先生も大きく関連していることに驚かされます。



～「てんとう虫」の由来～

1990年、北海道学習センターが北海道大学構内の札幌農学校・旧昆虫学教室に開設されました。学習センターだよりの発行にあたり、建物が昆虫学の研究に使用されていたことにちなんで「てんとう虫」という名前が命名されました。



旧昆虫学教室

「新しい生活様式」実践の前に——オンラインコミュニケーションに潜むリスク

放送大学北海道学習センター
所長 山田 義 裕



前回の巻頭言では、ジョン・アーリのモビリティーズ研究を紹介しながらモビリティーズには異なる二つの移動の様態、つまり物理的移動（交通）と「ヴァーチャルな移動」（通信）が関わっていると述べました。アーリは後者（通信）の活発化が前者（交通）を促進するという仮説を提示しましたが、7月の巻頭言で触れたように、2010年代における「拡張現

実」的社会事象を見る限りはその予測は見事に的中したと言えるでしょう。人々はオンラインコミュニケーションやウェブ空間での交流をきっかけに、リアルな空間を移動し、同じ物理的場を共有しながら身体的交流を活発に行うようになりました。しかし2020年に始まるCovid-19パンデミックの影響で、ヴァーチャルからリアルへという拡張現実的な動きは完全に封じ込められ、逆にその正反対のリアルからヴァーチャルへという流れが加速します。

パンデミックが宣言されると、世界各地でロックダウンやソーシャルディスタンスといった行動制限の方針が立てられ、これにより社会的活動は一部のエッセンシャルワークを除いて自粛が命ぜられました。何とか社会活動を維持させようと、窮余の一策として始まったのがウェブ空間に一時退避して、オンラインで様々な活動を行う試みです（リアルからヴァーチャルへという逆流）。教育や仕事の「現場」はウェブ空間へと移設され、それまで対面で行われてきた活動の殆どがテレビ会議システム等を用いたオンライン通信で代替されるようになったのです。ただ、パンデミックが長引くにつれ、これが一時退避では済まないことが分かると、「新しい生活様式（new normal）」という長期間に渡るコロナ対応の方策が提案されるようになりました。その方策のひとつに「対面の代替としてのオンラインの積極的な活用」が盛り込まれています。オンライン教育やリモートワークは、すでに多くの教員・学生や社会人が経験しており、そのメリットを評価する声もよく耳にします。しかしその一方で、オンライン化により対面での交流の機会が乏しくなることへの懸念を抱いている人たちが少なからずいることも事実です。この懸念は、単に急速な社会変化に対する漠然とした不安に過ぎないのでしょうか。それとも、そこに何か根拠はあるのでしょうか。同じ場を共有して対面で交流することの中に、オンラインの交流では決して代替できないものがあるとしたら、それは一体何なのでしょう。

これを考える上で、東北大学加齢医学研究所の川島隆太所長による「オンラインコミュニケーションと共感についての実験」が参考になります。川島先生は、パンデミック宣言直後の半年の間に、「対面会話」と「ウェブ会話」における脳の活動を比較する実験を行いました。被験者として参加した学生は25名ですのでパイロット的な小規模調査ではありますが、対面会話とウェブ会話における会話参加者の脳活動を比較した興味深い研究です。結論だけ申し上げますと、対面会話では脳の共感領域の活動が活発化して、参加者間で脳活動の同期現象が観察できたが、一方Zoomを用いたウェブ会話ではこの同期現象が一切観察できなかったということです。川島先生はこの調査をもとに、オンラインコミュニケーションでは情報伝達ではできるが他者への「共感」は生まれず、それ故「協調」や「協力関係」の形成が難しいと主張しています。

今後この種の研究が本格化するものと期待されますが、パンデミックを機に対面の代替としてのオンラインが社会に浸透し、メタバースへの期待の高まりとともにオンラインへの依存が進もうとしている現在、私たちもここで一度立ち止まって、人と人が同じ場を共有して対面で交流することの重要性についてあらためて考える必要があるのではないのでしょうか。

役割モデルと学び



放送大学北海道学習センター
客員教員 常田 美和

私は、助産師として臨床で働いた後、教員として看護基礎教育の仕事をしながら、大学・大学院に通いました。年数にすると、人生の半分以上の期間を学生として過ごしてきたこととなります。大学では、教育学の科目履修はしたものの、どんな教員になりたいのか、自己の成長の目標はなにか明確にできず、それを考えながら、教壇に立つ教員たちを観察していました。「こんな教員になりたくないなあ」などとネガティブな視点で受講している嫌な学生だったと思います。

さて、私の専門の母性看護学では、Rubin(1984)の母親としてのアイデンティティ形成過程やMercer(1989)の母親になることの理論などを学習します。母親になることは、女性がそれまでの自己概念に新たな母親役割を取り込み、自己概念を再構築し母性性(maternal identity)を獲得することといえます。この母性性獲得のプロセスは、「模倣」「空想」「脱分化」という大きく三つの段階で考えることができます。この第一段階である「模倣」は、母親役割のシンボルや規範的な実践を探して、真似をすることや模倣のために役割モデルを観察することを含むとされています。私の学生時代は、まさにその「役割モデル」の観察段階にあり、母性性獲得のプロセスに照らすと、その第一段階だったといえます。そのモデルになったのが、現在北海道大学名誉教授の玉城英彦教授です。

私は、大学院の博士課程に進みたいと思い、自分の研究テーマに近い研究室を探していました。その時、北海道大学の医学部に「国際保健医学分野(現在名称変更されています)」という分野を見つけて、玉城先生に会いに行きました。玉城先生は、世界保健機関(WHO)本部で世界の保健活動に従事されたご経験があります。私は、そのバックグラウンドに圧倒され、緊張しながら研究室にお伺いしました。「途上国の母親の産後うつに関する研究をしたいです。」と伝えたところ、許可をいただくことができ、受験勉強に励みました。無事合格して、国際色豊かな研究室で、玉城先生の創り出すオープンマインドで自由な雰囲気の中、仲間たちとのびのびと楽しく学んでいました。しかし、自身の研究は思うように進まず、気がつくとも玉城先生は定年となってしまいました。大学院の在学可能期限が切れてしまい、院生室のパソコンの前で鬱々としていた時、なんと沖縄にいらっしゃるはずの先生がきてくださったのです。後光がさしてみえた感動を今でも鮮明に思い出します。退職しても院生の面倒を見てくださる姿は、母親が自分を育てた人を役割モデルとするように、私の教員モデルとなっています。このモデルをどう自分に取り込めるのかは、今後の課題です。母親と子どもの関係性のよう、教員として学生との心理的絆の形成を進められるように意識しているところです。いくつになっても、生き方や考え方のモデルとなる人をさがしてみると自分の目標が見えてくることもあるものです。

基礎ゼミ受講生の募集



2023年度第2学期の客員教員による基礎ゼミを開講します。
つきましては次のとおり受講生を募集しますので、ご応募ください。

対象者：本学学生（ただし、定員を超える場合は、全科履修生を優先する。）

募集人数：各ゼミ10名（応募者多数の場合は抽選）

応募締切：1月11日（木）

応募方法：①学生番号・氏名、②希望するゼミ教員名（第3希望まで）、③メールアドレス（テキスト送付や開講中止となった場合等の連絡用）を学習センターに連絡してください。

TEL：(011) 736-6318、fax：(011) 736-6319

決定通知：受講が決定した方には、受講決定通知を送付します。

備考：締切後に空席のあるゼミについては、先着順にて受け付けますのでお問合せください。

不測の事態発生により、開講中止となる場合や、Web 会議システムでの開講方式に変更する場合（講義内容も一部変更）がありますので、あらかじめご了承ください。

開講区分：(1) 論理的思考法、(2) 研究実践法、(3) 論文作成法

*卒業研究の履修希望者は、上記の三カテゴリーをすべて受講した上で申請することを推奨します。

【実施場所：北海道学習センター（札幌）】

氏名	遠藤 泰	概要：植物、菌あるいは化学合成などから見つけれられた物質が、試験管中での実験や細胞、動物実験を経て、病気へ効果があり、安全性が高いと予測される「薬の候補」となります。「薬の候補」は健康な人や患者の協力によって、効果と安全性を調べられ得られた成績を国が審査して「薬」となります。具体例を示しながら論理的思考や研究実践法について学習します。
テーマ (区分)	物質が「薬」になるまでを学ぶ (1)(2)	
実施日時	3月 9日(土)13:00~14:30 3月 9日(土)14:40~16:10 3月10日(日)13:00~14:30 3月10日(日)14:40~16:10	
氏名	嶋崎 悌司	概要：札幌市内で、大量のスプレー缶を室内処理し、充満したガスによる爆発事故が起きました。すでに学んだ科学の知識と生活体験をもとに類推すれば、大事故は未然に防げたように思います。伊藤明夫「環境・暮らし・いのちのための化学のこころ」を読み、暮らしの中で日常的に起こる現象を振り返ってみたいと思います。参加を希望される方は、本書（裳華房）の第1部第1章「水―最も身近な環境―」を読んできてください。テキストは該当部分を配布しますので、購入の必要はありません。
テーマ (区分)	『化学のこころ』くらしの中で起こる現象を振り返る (1)	
実施日時	2月 3日(土)15:30~17:00 2月17日(土)15:30~17:00 3月 2日(土)15:30~17:00 3月 9日(土)15:30~17:00	
氏名	新川 貴紀	概要：スマートフォンやパソコンを通してオンラインで読むことができる論文が増えてきましたので、そのような心理学に関する論文の探し方をご紹介します。また、それぞれの興味関心がある研究の論文を検討し、心理学の研究がどのような方法により実践されているのかを知ることを目的とします。
テーマ (区分)	心理学研究の探し方と読み方 (2)	
実施日時	2月 3日(土)13:00~14:30 2月10日(土)13:00~14:30 2月10日(土)14:40~16:10 3月 2日(土)13:00~14:30	
氏名	張 博一	概要：様々な国際問題の中から、今年は「東京電力 ALPS 処理水の放出と中国による日本水産品輸入制限」を取り上げます。前半では、この問題に関する国際法を理解していただくために、論文を読みます。後半は「模擬国連」(受講生が各国の大使になりきり、実際の国連の会議を模擬する活動)というゲーム方式を用いて、チームに分かれて自国の国益を考慮しながらも、国際社会としての問題解決に貢献するための方策を検討していただきます。国家間の対立ではなく、協力するための方策を模索する内容ですので、気軽にご参加ください。
テーマ (区分)	模擬国連を通じて国際協調を考える (1)(2)	
実施日時	2月 4日(日)10:30~12:00 2月 4日(日)12:30~14:00 2月10日(土)10:30~12:00 2月10日(土)12:30~14:00	
氏名	吉野 巖	概要：心理学研究を行うには、関連する先行研究（実験論文）を読む必要があります。この基礎ゼミでは、実験論文（認知・教育・音楽心理学等から選定）を2本ほど読むことにより、実験論文の読み方を身につけることを目的とします。1日目は、教員が用意した論文を輪読し、実験内容や統計的分析の意味を解説します。2日目は、受講生の希望も踏まえて論文を選び、受講生には、論文の担当部分のレジュメを作成し内容を発表してもらいます。
テーマ (区分)	心理学実験論文の読み方 (2)(3)	
実施日時	2月10日(土)13:00~14:30 2月10日(土)14:45~16:15 3月 2日(土)13:00~14:30 3月 2日(土)14:45~16:15	

基礎ゼミ 旭川サテライトスペース



【実施場所：旭川サテライトスペース（旭川）】

氏名	高橋 雅治	概要：ゼミの目的は、論文で多用される基本的な文章パターンを使って英語論文を簡単に執筆する方法を身につけることです。文章パターンのテキストを用いて初学者でも理解できるような易しい内容を予定しています。したがって、英語が得意で無い方でも参加することができます。テキストは該当部分を配布しますので、購入の必要はありません。 教科書：「心理学英語〔精選〕文例集」高橋雅治他著 朝倉書店
テーマ (区分)	文章パターンによる英語論文執筆入門（3）	
実施 日時	3月 2日(土)14:00～17:00 3月 9日(土)14:00～17:00	



公開講演会のお知らせ

令和5年度旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」参加事業

講演題目：セルフコントロールの心理学 — 自己制御の基礎と応用 —



講師：客員教員・高橋 雅治 先生
(旭川医科大学名誉教授)



日時：2024年2月4日（日） 13:30～15:00
 会場：旭川市民文化会館（2階第2会議室）
 （旭川市7条通9丁目）
 定員：50名（参加無料）



申込 QR

講演概要：「すぐに手に入る小さな報酬（衝動性）」と「長い遅延の後に手に入る大きな報酬（セルフコントロール）」の間の選択という視点から、自己制御研究から得られた基礎的な成果とその応用的な意味について解説します。

主催：放送大学北海道学習センター
 申込・問合せ：放送大学旭川サテライトスペース ☎ 0166-22-2627
 備考：本講演は Zoom 配信します。
 本講演は道民カレッジ連携講座です。

Zoom ミーティング ID：2991773987 パスコード：kouryu（半角）



次学期の準備について



次学期の準備「継続入学・科目登録申請」のため、対象者には大学本部から各要項が届きます。出願及び申請の際には、各要項と『学生生活の葉』を必ず参照して、お間違いのないよう手続きをお願いします。ご不明な点は、北海道学習センターまたは旭川サテライトスペースまでお問い合わせください。

継続入学（今学期で学籍が切れる方）

学生生活の葉：教養学部（p.91～）・大学院（p.90）

大学本部から1月中旬に「継続のご案内」が送付されますので、学生募集要項等を希望する場合には、センターまたは本部に請求してください。

学期当初から面接授業を登録する方

申請方法：システムWAKABA → 教務情報 → 「継続入学申請」

※入学には放送授業またはオンライン授業から1科目以上登録が必要です。

※初めて全科履修生になられる方は、大学入学資格証明書類を提出してください。

出願期間：2024年2月13日（火）9：00～2024年2月29日（木）24：00

<科目登録申請期間> ※卒業見込者は2月下旬卒業確定後

変更になりました。

学期当初から面接授業を登録しない方

申請方法：システムWAKABA → 教務情報 → 「継続入学申請」

出願期間：現在受付中 ～ 2024年3月12日（火）17：00

※卒業見込者は2月下旬卒業確定後

申請方法：郵送 → 「出願票」に必要事項を記入

※初めて全科履修生になられる方は大学入学資格証明書類を同封してください。

出願期間：現在受付中 ～ 2024年3月12日（火）【私書箱必着】

◎全科履修生の場合、2016年度以前のカリキュラムが適用されている方は、継続入学後は2024年以降のカリキュラムとなり、従来とは卒業要件が異なりますのでご注意ください。

卒業見込みの方は、本部から1月中旬に「継続のご案内」が送付されますので、熟読の上、継続入学申請または科目登録申請をお願いします。

科目登録（次学期も学籍が続く方）

学生生活の葉：教養学部（p.55～）・大学院（p.56～）

大学本部から1月中旬に「2024年度第1学期科目登録申請要項等」が送付されます。記載事項をご確認の上、2024年度第1学期に履修したい科目（放送授業、オンライン授業、面接授業）を期間中に申請をお願いします。

システムWAKABAによる申請

申請方法：システムWAKABA → 教務情報 → 「科目登録申請」

申請期間：2024年2月13日（火）9：00～2024年2月29日（木）24：00

（2月の成績発表以降）

郵送による申請

申請方法：郵送 → 「科目登録申請票」に必要事項を記入

申請期間：2024年2月13日（火）～2024年2月28日（水）【必着】

●全科履修生は、休学期間を除き学費納入がない期間が、4学期続くと、除籍となりますので、3学期間科目登録をしていない方は、科目登録申請をしてください。

卒業研究に関心のある学部生へ

学生生活の葉：教養学部 (p.46~47)

本学の卒業研究は全科履修生の選択科目です（必須科目ではありません）。

指導教員の指導の下で研究を進め、卒業研究報告書をまとめる通年科目です。（自コース科目 6 単位として認定されます。）卒業研究を履修する方は、報告書を作成する上で役立ちますので、毎学期開講する「論文指導」の面接授業と「客員教員による基礎ゼミ」（本紙 P4-5 掲載）を、是非ご活用ください。

申請条件

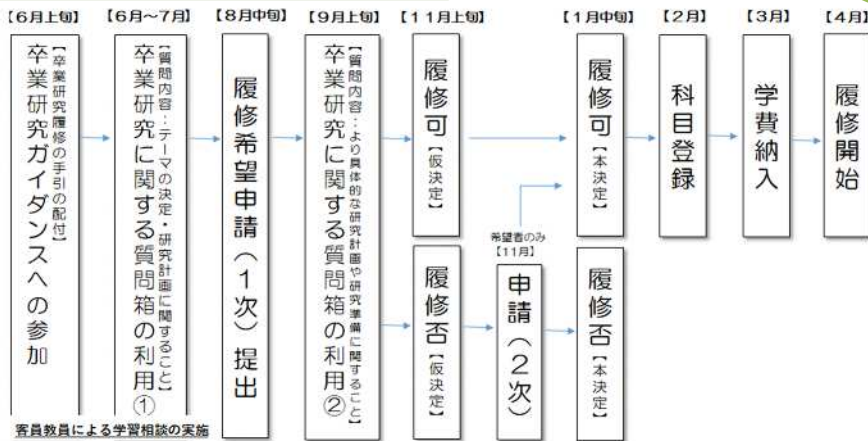
2024 年 4 月 1 日の段階で全科履修生として、2 年以上（休学・停学の期間を除く。）在学し、かつ 62 単位以上修得していることが必要です。
詳細は、6 月上旬予定の卒研ガイダンスで配付する「卒業研究履修の手引～2025 年度履修者用～」でご確認ください。

事前準備

- ① 卒業研究テーマを決める。（『学習相談』で客員教員の助言を受けるのが効果的）
- ② 関連する参考文献や資料を読んだり、収集する。
- ③ 卒業研究の進め方を知る。

「卒研希望者学習相談」は、北海道学習センターウェブサイトからダウンロードできます。

卒業研究のスケジュール（概要）



証明書の発行について

学生生活の葉：教養学部 (p.97~)
：大学院 (p.92~)

証明書の交付を希望する場合は、下記の証明書発行手続きに必要なものをご準備の上、北海道学習センター事務室に申請してください。（旭川サテライトスペースでは発行しておりません。）

※郵送も可能です。証明書の種類によっては、発行までに2週間程度を要するものがあります。各提出機関等への提出日を考慮の上、余裕をもって申請してください。

申請日から2週間程度を要する証明書

- ・教員免許状申請用の単位修得証明書（学力に関する証明書）
- ・資格関係の単位修得証明書・大学院受験のための調査書

証明書発行手続きに必要なもの

（証明書交付願の様式は放送大学ウェブサイトからもダウンロードできます。）

窓口で 請求する場合	<ul style="list-style-type: none"> ◆諸証明書交付願（『学生生活の葉』巻末の様式） ◆発行手数料（1通：200円）
郵送で 請求する場合	<ul style="list-style-type: none"> ◆諸証明書交付願（『学生生活の葉』巻末の様式） ◆発行手数料（1通：200円の郵便定額小為替 ※記入不要です。） ※現金の場合は、必ず現金書留で送付してください。 （切手は無効ですので受理せず返送します。） ◆返信用封筒（長形3号：120_{ミリ}×235_{ミリ}） ※84円（2通以上の場合は、94円）切手を貼付し、宛名を明記してください。 <p>〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目北海道大学構内放送大学北海道学習センターあて</p>

客員教員による学習指導・学習相談

◎対面・電話・web会議システム『Zoom』のいずれかにおいて、本センターの客員の先生方が学習の進め方、学習上で生じた種々の相談に応じます。

※「学習相談票」に希望の相談方法・必要事項を記入し、相談日の7日前までに事務室宛にお送りください。「学習相談票」は北海道学習センターHPよりダウンロードが可能です。

◎令和6年1月から令和6年3月までの相談日程（予定）は、次のとおりです。

◎先生方のご都合により急遽日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

北海道学習センター

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる 学習相談の日程			時間
		1/13(土)	2/3(土)	3/2(土)	
えんどう 遠藤 先生 とある 泰 先生	薬学	1/13(土)	2/3(土)	3/2(土)	13:00 ~ 15:00
		1/14(日)			
		1/20(土)			
おおみや 大宮 先生 まなぶ 学 先生	情報科学	★1/9(火)	2/10(土)	3/9(土)	★11:00 ~ 13:00 13:30 ~ 15:30
		1/13(土)	2/17(土)	3/23(土)	
		1/27(土)	2/24(土)		
かきさき 蛸崎 先生 ていじ 梯司 先生	分析化学	★①1/4(木)	2/3(土)	3/2(土)	★①10:00 ~ 12:00 ★②12:30 ~ 14:30 13:00 ~ 15:00 ★③15:00 ~ 17:00
		★②1/11(木)			
		★③1/27(土)			
しんかわ 新川 先生 たかのり 貴紀 先生	臨床心理学	1/10(水)	★2/22(木)	3/28(木)	10:00 ~ 12:00 ★12:30 ~ 14:30
ちよう 張 先生 はくいち 博一 先生	国際法	1/26(金)	★②2/10(土)	★③3/30(土)	10:00 ~ 12:00 ★①12:00 ~ 14:00 ★②14:30 ~ 16:30
		1/30(火)			
		1/31(水)			
つねた 常田 先生 みわ 美和 先生	母性看護学 国際看護学	1/7(日)	2/4(日)	3/14(木)	10:00 ~ 12:00
		1/13(土)	2/18(日)	3/21(木)	
		1/28(日)	2/25(日)		
なかわら 中村 先生 みはる 三春 先生	日本文学	1/17(水)	2/7(水)	3/27(水)	14:30 ~ 16:30
		1/31(水)	2/29(木)		
にしかわ 西川 先生 かつゆき 克之 先生	観光研究	1/10(水)	2/21(水)	3/13(水)	15:00 ~ 17:00
		1/31(水)	2/28(水)		
はまだ 濃田 先生 じゅんいち 淳一 先生	腫瘍生物学	1/10(水)	2/7(水)	3/6(水)	10:00 ~ 12:00
		1/17(水)	2/14(水)	3/13(水)	
		1/24(水)	2/21(水)		
よしの 吉野 先生 いわお 巖 先生	心理学	1/5(金)	2/16(金)	3/8(金)	10:00 ~ 12:00
		1/19(金)			
		1/26(金)			

旭川サテライトスペース

客員教員	専門分野	対面・電話・Zoomのいずれかによる 学習相談の日程		時間
		曜日	回数	
いしづか 石塚 先生 ひさき 博規 先生	英語教育学	木曜日	(基本的に第1週~第3週)	13:30 ~ 15:30
こいずみ 小泉 先生 ただひる 匡弘 先生	技術教育	金曜日	(基本的に第1週~第3週)	9:30 ~ 11:30
たかはし 高橋 先生 まさはる 雅治 先生	心理学	水曜日	(基本的に第1週~第3週)	14:00 ~ 16:00

2023年度2学期 単位認定試験の実施について

Web受験方式を基本とし、一部の科目*のみ郵送受験方式により実施します。

試験期間中好きな時間に好きな順番で受けられます。

1 試験日程

Web受験方式【試験期間】：2024年1月16日（火）9：00～1月24日（水）17：00
 郵送受験方式【提出期間】：2024年1月16日（火）～1月24日（水）**必着**

2 実施方法

*郵送受験方式で実施する一部の科目を除きます。

- ・インターネットを通じて「Web単位認定試験システム」にアクセスし、受験します。
- ・試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。
- ・1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能。）
- ・「択一式問題」は選択肢をクリックすることで解答します。
- ・「記述式問題」は解答記入欄に文字入力により解答します。
- ・受験開始ボタンを押すとカウントダウンが始まり、一度カウントダウンが始まった後は、受験画面を離れてもカウントダウンは進行します。



3 体験版の提供

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する端末から、2023年度第2学期の単位認定試験期間前（2024/1/15）までに、必ず「Web単位認定試験体験版」で、事前に操作方法を確認してください。



4 問い合わせ先

放送大学 学務部学生課 単位認定試験係
 Mail shugaku-ka@ouj.ac.jp
 電話 043-276-5111 (総合受付)

パスワードの変更はお済みですか？
 1度も変更されていない方は、必ず変更してください。



【お知らせ】2024年度第1学期以降 学生が使用するパソコンの廃止について

面接授業および自己学習で学生が使用するパソコンおよびプリンターは、北海道学習センター実習室・学生控室、および旭川サテライトスペース視聴学習室に配置していますが、2023(令和5)年度末をもって、学生が使用するパソコン・プリンターを廃止します。2024年度第1学期以降、面接授業でパソコンを使用する際は、シラバスに記載された仕様のパソコンを受講生ご自身が持参して受講してください。また、学生控室・視聴学習室(旭川サテライトスペース)でパソコンを利用する場合は、ご自身のパソコンを持参してご利用ください。

<参考>2024年度第1学期にパソコンを持参して実施する面接授業は次の科目です。

(北海道学習センター開設)「パソコン応用」「Pythonプログラミング入門」「情報ネットワークとサービス」「心理学実験1」「心理学実験2」「心理学実験3」

(旭川サテライトスペース開設)該当科目はありません。

2024年度第1学期 面接授業 函館・帯広開催のお知らせ

函館開催 海の生き物と人の暮らし

2024年6月8日(土)・9日(日)

担当講師：工藤 秀明(北海道大学大学院水産科学研究院・教授)

パウア・ジョン・リチャード(北海道大学大学院水産科学研究院・准教授)

秋田 晋吾(北海道大学大学院水産科学研究院・助教)

会場：北海道大学水産学部(函館市港町3-1-1)

帯広開催 観光研究への招待

2024年6月22日(土)・23日(日)

担当講師：西川 克之(北海道大学大学院

メディア・コミュニケーション研究院・教授)

会場：とがちプラザ(帯広市西4条南13丁目1)

注意

実施会場を確認!

注意

面接授業の科目登録をする時に、シラバスの**実施会場**をよく確認をして登録をしてください。札幌で開講すると思って地方開講の授業に申し込み、当日は欠席をする、というケースが多くみられます。このまま受講生が少ない状況が続くと、地方開講ができなくなってしまいます。



学友会からお知らせ 「メタバースキャンパス」イベント



メタバースのイベントエリアは、学生個人、サークルなどの会合、発表会など広く利用を開放しています。今回は全科生・湯田さんの発表です。

「北方領土語り部～領土問題を考えよう～」
日時：12月21日（木）午後8時から午後10時
場所：放送大学メタバースキャンパス イベントエリア



<https://meta2cp.ovice.in/>

北方領土啓発次世代ラボの湯田美咲（全科履修生）です。

この次世代ラボは、内閣府北方対策本部が中心になり進められているプロジェクトで、若年層の視点から次世代へ向けた北方領土問題の啓発手法を構想し、事業を実施するものです。

今年は「北方領土すごろく」と「北方領土語り部」の2つの事業を行うことになりました。前半には北方領土についての講義、そして後半は北方領土に関するディスカッションを行う予定です。北方領土を知らない方でも分かりやすく解説する予定なので、メタバースキャンパスにいらしてください。

（メタバースキャンパス入場で使う機器について）

推奨デバイス：パソコン（非推奨デバイス：スマートフォン・タブレット）

推奨ブラウザ：google chrome Microsoft Edge **検索**

※ メタバースの利用希望がありましたら、学友会までお問い合わせください。



※ メタバースの使い方



文化祭実行委員会から「第15回文化祭公募」



募集中!

第15回北海道学習センター文化祭
実行委員長 佐藤 恵

このたび、今年度の文化祭実行委員会三役よりご指名を受け、来年度（令和6年度）の文化祭の実行委員長をお引き受けすることになりました。なにぶんにも初めての経験でなにかと不行き届きがあるとは思いますが、皆さんのお力添えをいただいで精一杯頑張っていきたいと考えております。つきましては、①実際にお手伝いをいただける方（実行委員・自薦）、②映画祭の上映作品の推薦、③講演会は講師もしくは講演のテーマの希望を募ります。応募・お問い合わせは、下記のGoogleフォームまたはメールにてお知らせ頂けると助かります。なお、一次締め切りは2024年1月末とさせていただきます。

Googleフォーム



または メール goji270318@gmail.com



スケジュール



網掛け

視聴学習室
利用不可

1月		2月		3月	
日	曜	事項	日	曜	事項
1	月	閉所日(元旦)	1	木	
2	火	閉所日(年末年始)	2	金	
3	水	閉所日(年末年始)	3	土	
4	木		4	日	公開講演会(旭川ISS)
5	金		5	月	閉所日
6	土		6	火	
7	日		7	水	
8	月	閉所日	8	木	
9	火		9	金	
10	水		10	土	
11	木	■1月中旬 次学期科目登録申請要項 送付	11	日	閉所日(祝日)
12	金		12	月	閉所日
13	土	オープンキャンパス(札幌)	13	火	■第1学期科目登録申請受付期間
14	日	オープンキャンパス(旭川)	14	水	【Web】2/13~2/29(24時) 【郵送】2/13~2/28(必着)
15	月	閉所日	15	木	
16	火	単位認定試験(開始9:00)	16	金	システムWAKABA成績発表(予定)
17	水	単位認定試験	17	土	
18	木	単位認定試験	18	日	
19	金	単位認定試験	19	月	閉所日
20	土	単位認定試験	20	火	
21	日	単位認定試験	21	水	
22	月	閉所日	22	木	
23	火	単位認定試験	23	金	閉所日(祝日)
24	水	単位認定試験(終了17:00)	24	土	
25	木	臨時閉所日	25	日	
26	金		26	月	閉所日
27	土	アカデミックカフェ(北海道SC)	27	火	■2024-1学期第1回目 出願受付期間
28	日		28	水	【Web】11/26~2/29(24時) 【郵送】11/26~2/29(必着)
29	月	閉所日	29	木	
30	火		30	土	学位記授与式(札幌・旭川)
31	水		31	日	

●1/16(火)~
1/24(水)
単位認定試験の為
視聴学習室
閉室

■2024-1学期第2回目
出願受付期間
【Web】3/1~3/12(24時)
【郵送】3/1~3/12(必着)

●3/21(木)~3/31(日)
次学期準備の為
視聴学習室
閉室(北海道SCのみ)

■授業料納入期限
在学生:3月末



事務室の開所日と開所時間

区分	曜日	北海道学習センター	旭川サテライトスペース
事務室開所日時	火曜日~日曜日	9:30~17:30 (視聴学習室は10:00~12:00 13:00~16:00 (電話対応は18:00まで))	9:00~17:00

- ・来所時のマスクの着用については、個人の判断に委ねることとしますが、本学学生の特長として高齢者が多い状況から、当面の間、来所時の状況や場面に応じた着用を推奨しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・開所時間等の詳細は、北海道学習センター・旭川サテライトスペース ホームページでご確認ください。

発行責任者：放送大学北海道学習センター所長 山田 義裕